

様

年 月 日

ジェムザール／トポテシン療法

この治療では次の2種の薬を使用します。

ジェムザール（ジェムザール）：細胞の分裂を抑えて病気の細胞が増えるのを抑えます。

トポテシン（トポテシン注）：細胞のDNAに作用し効果を現します。

<投与スケジュール> . . . 3週間 1コース 今回 コース目

<薬品名> <投与方法・時間>	<薬の作用>	1コース目					2コース目
		1日目	. . .	8日目	22日目
デキサト注・グラセトン注 <点滴 30分>	アレルギー・嘔気の予防		休薬		休薬	休薬	
ジェムザール（ジェムザール） 生食100ml <点滴 30分>	化学療法剤		休薬		休薬	休薬	
トポテシン（トポテシン注） 生食500ml <点滴 1.5時間>	化学療法剤		休薬		休薬	休薬	

<薬剤投与日の注意>

- ★ 点滴部位が痛くなったり、腫れたりした場合や点滴が落ちなくなった場合は、薬液が血管外へ漏れていることがありますので、すぐに申し出てください。
- ★ 投与開始後、アレルギー症状が現れることがあります。息苦しさや胸の痛み、脈の乱れ、顔の火照り、発汗異常、低血圧、かゆみ、発疹などの不快症状があればすぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中でも、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

<備考>

<副作用>

副作用と症状	発現時期、頻度	対策	備考
白血球減少 発熱 風邪様症状	1～2週で最低	うがいや手洗い・休養を心がけて下さい。白血球を増やす薬や抗生物質を使うこともあります。	
血小板減少 出血	2週間前後	けがや打撲、歯ぐきからの出血、鼻血などに気をつけて下さい。止血剤を使ったり、輸血をすることもあります。	
貧血 倦怠感、息切れ	—	採血結果によっては、造血剤を使ったり、輸血をすることがあります。	
アレルギー症状 顔がほてる、息苦しい 胸が苦しい、発疹	開始直後 ～数日	あらかじめ3種の予防薬を使いますが、症状があればすぐに申し出て下さい。	
吐き気・嘔吐	比較的少ない	我慢せずに吐き気止めを使用してください。	
下痢・腹痛	重度 3人に1人	水分摂取を心がけて下さい。下痢止めや整腸剤を使ったり、点滴をする。	
倦怠感	3人に1人		
脱毛	2～3週間後に現れる。	治療が終了すれば徐々に回復します。気になる方は帽子やスカーフ・かつらなどをお使い下さい。	
発熱	—	必要時解熱剤を使用してください。	
間質性肺炎・肺線維症	少ない	息苦しさ、空咳、発熱など、早期発見が大事。すぐに申し出て下さい。	
その他：口内炎、便秘、肝障害、心機能障害、肺障害など			

<注意事項>

- ★ ここにあげた副作用は、代表的なものです。必ずしもこれらの症状が現れるとは限りません。もし副作用が現れても、早期に発見、対処すれば、治療の継続が可能です。過剰に心配せず、気になること、調子の悪いことがあれば、医師・薬剤師・看護師に申し出て下さい。